

体罰をしない子育てを広げる

保護者でも体罰は禁止

令和元年度に市に寄せられた児童相談件数は2633件で、平成27年度と比較すると約2.5倍に増えています。児童福祉法などの改正により、今年4月から保護者でも子どもに「しつけ」として体罰を加えることが禁止されました。体罰などによらない子育てを推進するため、子育て中の保護者への支援や、啓発の取り組みが行われています。

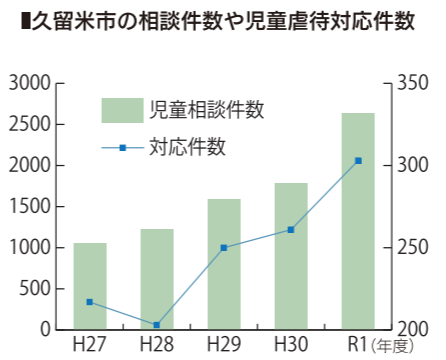
子どもの成長に影響

しつけは社会で自立した生活を送れるよう、子どもの社会性を育むことです。子どもの人格形成や才能を伸ばすことも含まれます。体罰が繰り返されると、子どもの心身の成長や発達に悪影響を及ぼすことが科学的にも明らかになっています。苦痛や不快感を与える体罰では、子どもの自立や社会性を育むことにはつながりません。次のような場合も体罰に当てはまります。

- 注意しても言うことを聞かないので、頬をたたいた
- いたずらをしたので、長時間正座をさせた
- 宿題をしなかったので、夕食を与えなかった

一人で抱え込まない

新型コロナウイルスによる外出自粛や仕事、子育ての不安などを抱える保護者が増えています。積み重なると心に余裕がなくなりやす。そんな時はまず、その気持ちに自分で気づき認めることが



全国屈指の城下町

九州のお目付役だった有馬家

江戸時代の久留米藩は、石高が21万石で全国でも20番目、13万6000人が住んでいました。有馬家による久留米のまちづくりは、元和7（1621）年、初代藩主・有馬豊氏の入国に始まります。豊氏の父・則頼は豊臣秀吉に仕え、関ヶ原合戦で東軍として徳川方で活躍。その功績から、豊氏とともに大名になりました。豊氏は、徳川家康の養女・連姫と結婚し、大坂の陣でも功を上げます。徳川家からの信頼を得た豊氏は、丹波福知山（現在の京都府福知山市）の8万石の藩主から、久留米に国替えとなります。21万石の藩主となりまさに大出世でした。

当時の江戸幕府の支配は盤石ではなく、遠く離れた九州は、筑前の黒田家、肥前の鍋島家、薩摩の島津家など豊臣系の外様大名が多く、幕府にとっては不安が拭えませんでした。豊氏が縁のない久留米に送られたのは、九州の大名たちを監視し、安定させるための政策だったといわれています。有馬家は、明治維新まで11代にわたり久留米藩を治め、治

大事です。その場を離れたり深呼吸をしたりして気持ちを落ち着かせましょう。一人で悩まず、市の子育て支援サービスや相談窓口を利用し、工夫やコツを知ること一つの方法です。

◎家庭子ども相談課 ☎094・2・300・9208、FAX 094・2・300・9718

子育てに悩んだら、まずは連絡を

こども子育てサポートセンター
☎ 0942・30・9302、FAX 0942・30・9718

虐待に関する相談はこちらへ

久留米児童相談所
☎ 0942・32・4458、FAX 0942・32・4459
★全国共通番号 ☎ 189 (いちはやく) 近くの児童相談所につながります

市ホームページ「各種相談窓口」を詳しくはQRコード

笑顔が増える子育てのこつ！

ポイントは「その子なりの感じ方や考え方を受け止め、向き合う」ことです

- 子どもが行動しやすい言葉で伝える
 - 学校に行く時間だよ
 - テレビを消して着替えよう
- いろいろな理由があることを知る
 - なんで怒られるのかな？
 - こっちをみてほしいな...
 - いやだ！ したくない！
- できたことを具体的に褒める
 - 片付けできたんだね、すごいね！
- その他のポイント
 - *子どもの状況に応じて、片付けておくなど環境を整える
 - *「どうして〇〇したの？」など子どもの気持ちや考えに耳を傾ける
 - *子どもが選べるように複数の選択肢を用意して、行動を選ばせる

70年の歳月をかけた久留米城

久留米城は、16世紀頃に敵を防ぐ小さな城として築かれました。戦国時代から江戸時代の初期にかけて、小早川秀包や田中吉政、忠政によって整備され、豊氏によって巨大な城へと生まれ変わります。城島城や赤司城の資材を転用して改修。完成まで4代にわたり約70年かかりました。東面の城の大手口を南面に変更し、北側に堀や筑後川で区画された本丸を配置。二ノ丸、三ノ丸、外郭を拡張します。城内は、堀や土塁で防御され、上級家臣の屋敷や藩役所もありました。範囲は、南北1.7km、東西1.2km、現在の久留米市役所の北側まで広がっていました。菩提寺の梅林寺を建立し、寺院を寺町に集め、新町、三本松、武家屋敷、通町を整え、全国屈指の城下町が完成しました。この町割りも、現在の市街地の原型になっています。

◎文化財保護課 ☎0942・30・9225、FAX 0942・30・9714

久留米歴代藩主

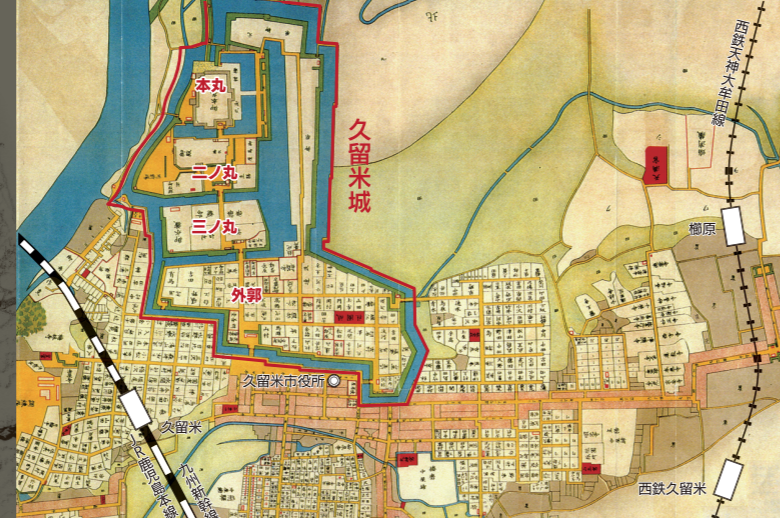
初代	豊氏	とようじ
二代	忠頼	ただより
三代	頼利	よりとし
四代	頼元	よりもと
五代	頼旨	よりむね
六代	則維	のりふき
七代	頼僮	よりゆき
八代	頼貴	よりたか
九代	頼徳	よりのり
十代	頼永	よりとお
十一代	頼咸	よりしげ



久留米藩主を祭る篠山神社。明治12（1879）年に本丸跡に建てられました

▶久留米初代藩主・有馬豊氏。茶人・千利休の弟子として「利休十哲」にも上げられ、茶人としても一流でした《篠山神社蔵》

▼天保年間久留米城下図。江戸時代の久留米城（赤枠）は現在の市役所近くまで広がっていました《久留米市教育委員会蔵》



もっと知りたい11人の藩主HPならではの秘話も連載中

市ホームページ「久留米入城400年モノ語り」へ詳しくはQRコード

関連情報は「これ、知ってる!？」へ